

# 超ニッチ分野で顧客価値を向上

代表取締役社長 山本 昇氏



## 江守情報

福井市順化1-24-38

激変するIT業界で、新しい時代を担う若手の登用を進める。「新年度から徐々に事業部制を薄め、若い人にフォーカスが当たるフラットな組織にする。現場の経験、教育の機会、報酬を増やし、鍛えていきたい」。執行の権限委譲や大胆な組織改革を行い、人に投資。コロナ禍で本格化したリモートワークや短時間勤務のフォーマリシップ社員など多様な働き方も進め、女性役員登用を視野に入れる。

公共システム・民間会社システム構築、海外ソフトウェア販売代理業務

コンテンツビジネスなどの事業をグループ5社で展開。各フィールドで高い収益性を発揮し業績は好調だ。昨年、東京支店を移転し新年度はソフトウェア事業所を改装予定。またサテライトオフィスの設置も検討し、働く場所の選択肢を広げる。

デジタル技術を活用して組織や事業の在り方を変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みが始まるなか、「業界は転換期を迎えている」と考察。「機能をつくり出す」「プラットフォーム」と「価値を創り出す」「ITユーザーの隙間を埋め、超ニッチ分野で顧客価値向上に尽力する。」機能提案から課題解決へ、支援の場が電算室から現場に変わっている」と語る。表層ではなく潜在的なニーズを読み解くことが求められ、アドバイザリーとして顧客の社内会議に参加することもあるという。

SDGs（持続可能な開発目標）にも取り組み、深い信頼関係の下、長期間にわたり顧客の課題を切れ目なく解決。「お客さまの一部となってお役に立つ、良い意味で「普通」ではない、ニッチを極めた存在を目指したい」と決意を語った。